

学習指導案形式例（音楽科）

第〇学年〇組 音楽科学習指導案

指導者 ○○ ○○

領域（分野）

- 1 題材名 (例) ○○を○○しよう
教材名 「曲名」(○○) 作詞・作曲
- ・題材名は、学習内容と活動が児童・生徒にはっきりとイメージできるように記述しましょう。

- 2 題材について

【本題材で扱う学習指導要領の内容】

(例) A 表現 (1) 歌唱 ア ·····
イ(ア) ·····
ウ(ア) ·····

- ・「A 表現」の指導については、
ア(思考力、判断力、表現力等)、イ(知識)及び
ウ(技能)の各事項を、
「B 鑑賞」の指導については、
ア(思考力、判断力、表現力等)、イ(知識)の
各事項を適切に関連させて指導します。

[共通事項] (1) ア 音色、リズム
イ スタッカート

- ・本題材において、思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を絞り、記述します。

- ・扱う場合のみ。
取り扱う用語や記号を記述します。

(1) 題材の目標

- ····· (知識及び技能)
○ ····· (思考力、判断力、表現力等)
○ ····· (学びに向かう力、人間性等)

- ・この題材を通して身に付けさせたい力を具体的に記述しましょう。
・資質・能力別に箇条書きにしたり、題材で育てる力を総合的に捉えて述べたりしましょう。
・文末は、児童・生徒の立場での表現（～する。）で記述しましょう。

(2) 題材観（題材設定の理由）

本題材のもつ価値や内容、意図するところを明確にしましょう。

扱う題材についての分析（教材観）等について、なぜこの教材をこの題材で取り上げ、児童（生徒）のどのような力を身に付けることができるのかを記述しましょう。

(3) 児童（生徒）の実態（〇〇名）

本題材で扱う内容や身に付けさせたい力に関する現在の実態（既習の状況や意識調査、能力調査の結果など）を、分析的に記述しましょう。

実態を踏まえ、この題材による活動を通して育てたい児童・生徒の姿について述べましょう。

(4) 指導観

実態等を受けて、題材の目標で示した力を育成するために、どのような指導や支援の手立てをするか（指導の工夫）を具体的に述べましょう。（このような場面で、このような方法で、など）
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた視点も記載しましょう。

3 題材の評価規準

・国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に、題材の目標を実現する学習活動に合わせて作成しましょう。

知識・技能 知 技	思考・判断・表現 思	主体的に学習に取り組む態度 態
①知 ~している。	思① ~している。	態① ~しようとしている。
②技 ~技能を身に付けて～している。	思② •指導事項の各ア 及び評価規準の設定例から各題材に合わせて設定。	•目標(3)及び評価規準の設定例から各題材に合わせて設定。
③知技 ~とともに, ~技能を身に付けて～している。	•A表現領域は、「知識」と「技能」とに分けて設定することが原則。関連性の高い場合、知技として一体的に評価することも可。B鑑賞領域は、「知識」のみ記載。	

4 指導計画及び評価計画(○時間扱い)

※ 丸数字…全員の学習状況を記録に残す場面

次	時	◎ねらい ○主な学習内容・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素、用語や記号など〕	○教師の働きかけ	評価規準 (評価方法)		
				知・技	思	態
第一次	1	◎ リズムを感じ取りながら、～する。 ○「〇〇」の主旋律をつかむ。 ・教師の範唱を聴く。 ・ ○ ・ ☆〔音色、リズム、旋律〕	○	↓ ① 知 (発言・記述)		
			○		↓ ① (発言・記述)	
	2 本時	○ ・ ・ ☆〔 〕	○		② (発言・記述)	
	3	○ ・ ☆〔 〕	○			
第二次	4	○ ・ ○ ・ ・ ☆〔 〕	○	「3 評価規準」との整合性を図りましょう。	③ 知 (聴取・発言・記述)	↓ ① (観察・記述・聴取)

5 本時の指導 (○／○)

(1) 目標 (例) ○○する。・題材の目標に沿って、ねらいを絞って記述しましょう。

(2) 展開

時配 (形態)	○学習内容・学習活動 ☆ [音楽を形づくっている要素]	○教師の働きかけ	評価規準		
			知・技	思	態
5分 (一斉)	○ ・ ○本時のめあてをつかむ。	○ どうして？なぜ？どうしたら？などの 疑問形にすると思考が深まります。 ○○するには、どのように工夫すればよいのだろう			
10分 (個)	○ ・ ・	○			
15分 (グループ)	○ ・ ・ ☆ [音色、リズム]	○			
10分 (一斉)	○ ・ ☆ [音色、リズム]	○ ・「4 指導計画及び 評価計画」との整合 性を図りましょう。		① (発言・記述)	
5分 (個)	○	○		② 技 (聴取)	

・以下に(3)(4)…等として、板書計画や学習状況例等を記載するとよいです。

(3) 板書計画

(4) 本時の評価と教師の働きかけ

<思考・判断・表現①の評価場面（発言の内容及びワークシートの記述）>

Aと判断される児童生徒の学習状況	
Cと判断されそうな児童生徒への働きかけ	